
さくら

魔梨亜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

さくら

【Nコード】

N0124C

【作者名】

魔梨亜

【あらすじ】

クリスマスの日。和葉は服部と待ち合わせする事に、しかし服部はいつまでたっても現れない。しかも木の陰から通り魔(?)・・・。

「・・・今日はクリスマスなのに・・・なんでなん？」

「何で来エへんの・・・ヘイジイイ・・・！！！！」
(怒)

ウチはバス停の前で、もうかれこれ4、5時間は待つとる・・・。
平次と待ち合わせしたからや。2時くらいから待ち合わせやったから：てつきり遊園地にでも連れてってくれるんかと期待に胸を躍らせとったのに・・・これって待ちぼうけくらったんかな・・・。

「はぁ・・・クリスマスやからカップルいっぱいおるなぁ・・・。
平次ー・・・。」

ーさらに1時間経過。

「もう、8時やんかった！！！！(怒)・・・最近この辺、通り魔出るつちゅー話聞いた事あるんだけどなぁ・・・。」

それはウチの怒りが限界に達した時の事やった・・・。

ガサガサッ

「ひっ!! な、ななな・・・何なん・・・? も、もしかして・・・
通り魔・・・?」

「いっ・・・」

ウチが叫ぼうとした時・・・。

「おっと・・・はぁ…疲れたわぁ・・・。」

ガサガサの音の正体は平次やった。

「平次! ?」

「おう!! 和葉、待たせたな。」

「何が”待たせたな” やっ!!!!!!!!!! (怒) 何なん!? な・・・何で・・・こんな…遅れたん?」

「まあ・・・その・・・事件やったからなあ。悪かった。でも気にすんなや!! オレがなんでも、おごったるから!! なっ?」

「ええ・・・、もう帰らへんとアカン時間やないの? 今何時か知っとる? ?」

「は? 今・・・8時やんけ。何や和葉。携帯持ってきてへんのか? ?」

「持つてきとるわ!!! 何度も平次に電話したし、メールしたし! ！それに、ずっと通じへんし・・・返事返してこんし・・・何か・・・泣きたなってきたわ・・・。」

「・・・平次ずっと来えへんし、電話通じへんから・・・てつきり：平次が事故にあっただんかと思て・・・ずっと・・・不安やったんからああっ!!!」

ウチはその不安な気持ち・・・表にだしてもうた。泣いてしもた、平次の前で。

「・・・和葉・・・。」

「ちょい来いや。」

「へ?」

ウチは平次に言われるがまま、平次の行く方へと歩いた。

随分歩いた・・・。

「いっは・・・?」

「平次の家やんか・・・」

「よお見てみ。」

なんと、平次の家の庭の木たちにクリスマスデコレーションがついとして・・・まるで・・・クリスマスツリー…みたいなー・・・。

「毎年オカンがこん時期になると庭の木イに飾りつけるんけどな。今年はカゼこじらせおつての。しゃーないからオレがずっとやっとなんや。今日な。」

確かに・・・毎年デコレーションやっとなんは覚えてる・・・でも今年は何か・・・。

「何で？別に平次がやらんでもよくない？めんどいやろ？？」

「なあゝに言うてんねん。和葉やろ？このデコレーションいつちやん楽しみにしとったんわ。」

「せやけど・・・ウチの為に？？」

「まあ・・・そゆう事にもなるんかな・・・／／」

ちよつと顔赤らめた平次の顔・・・かっこええ・・・。

「すごいなあゝ・・・何で12月なんに桜が咲いとるん?？」

”ふゆざくら”ちゅうんや。ホンマは”コバザクラ”ちゅうんけどな。」

桜がまっとって・・・ちよつと寒くて、庭は輝いって、隣に立つとるんは平次…

最高のクリスマス・・・やな・・・。

「これがオレのクリスマスプレゼントや!! つーわけで和葉は何くれるん?？」

「あんなあゝ・・・正直言うて、わざわざ待ち合わせせんでも、ウチが6時間待たんでもよかったんとちゃう?? (怒)」

「い”っ・・・そ、それは…。別にええやんけ!! なっ!!!! (汗)」

「~~~~~!」

END

（後書き）

初めての投稿です・・・。何か話がまとまっていなくてかなり
：ですが気にせず読んでいただければなによりです！！！！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0124c/>

さくら

2010年10月15日22時15分発行